



尼崎市立小園中学校 第2学年 社会科通信

# なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.23-1 / 4

## 作文・律令時代の農民の生活を考える

1学期の期末考査の「作文」の課題は、

「律令時代の庶民(農民)の暮らしと、今日の私たちの暮らしについて、君の意見をまとめなさい。」でした。

採点基準は(満点7)、

- ①当時の生産力が低かったこと。
- ②6歳から口分田が与えられ、幼い子どもでも働かな

いと生きていけなかったこと。

- ③田植えは定着していたと考えられるが、農具などの未発達によりかなり厳しい農作業であったこと(鉄製品が貴重品)。

- ④税のうち、租よりも庸・調・雑徭・衛士・防人などのほうが農民を苦しめたこと。

- ⑤税以外でも、出挙によって稲が収(奪)われること(奪われること)されたこと。

- ⑥仏教などの知識は、支配階級に独占されていて、文化的にも社会階級の差があったこと(知識の差が社会的・文化的な身分差を生み出す)。その他、律令時代の歴史的な事実を指摘していること。

- ⑦現代の社会生活が、高度に発展した社会的分業によって支えられていること。

- ⑧現代では、教育を受ける機会が平等に与えられていること。

- ⑨現代社会の生活が、当時の農民の努力と苦労によって支えられ存在すること。

などについて、具体的に説明をしていれば、それぞれにつき1点を加える、でした。



中間考査に比べれば、全体的に「作文のレベル」は上がっています。しかし、まだまだ、論旨(書かれている内容、主な主張)に一貫性がないことや、1年生の時に学んだ地理的分野の知識が整理されていないこと(今日の社会の客観的な状況は、地理的分野で学びました)など、多くの課題を残しています。

また、今日の税についても、すすんで調べて欲しかったのですが、「所得税」

| 主な税金の種類 |         |
|---------|---------|
| 国       | 税       |
| 直接税     | 間接税     |
| 所得税     | 酒税      |
| 法人税     | 関税      |
| 相続税     | 揮発油税    |
|         | 消費税     |
| 地方      | 税       |
| 都道府県民税  | たばこ税    |
| 市町村民税   | ゴルフ場利用税 |
| 自動車税    | 地方特別消費税 |
| 市町村民税   |         |
| 固定資産税   | たばこ税    |
| 軽自動車税   | 消費税     |

についてふれていた人は、2人だけでした。ほとんどの人が、「消費税」だけで今日の税制度が成り立っているような、作文を書いていました。授業中にも説明しましたが、今日の政治は、多くの種類の税で成り立っています(左の表にあげている税だけが全部ではない)。その点に注意しておいてください。

ただし、今日の税と、かつての歴史的な時代にみられる税とは、大きな違いがあります。今日の税は、国民のために利用されています。しかし、律令時代から江戸時代までの税は、支配階級の生活を支えるのが主な役割だったのです。この違いは、民主主義を目指す政治かどうかの違いでもあるわけです。歴史の変化が大きく見られる場面です。

一方、社会的な生産力の違いに触れた答案は、非常に少ないのが現状です。社会的な生産力の高さが、その社会の構造(しくみ)を決定づけます。中学生用の教科書や参考書には、あまり触れられていませんが、社会科学上の常識です。この点については、意識的に授業で取り上げてきました。今後の学習を進めるうえでも注意してください。

なお、「貧困」には、「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。これも、社会的な生産力との関係でおこることが多い現象です。

「絶対的貧困」は、生物としての生存すら危ういような貧困状態を意味します。たとえば、飢饉や餓死のときがそれにあたります。「相対的貧困」は、その社会での人間としての生活の豊かさを示します。

律令時代では、貴族は「相対的な貧困」に悩み、民衆は「絶対的な貧困」の恐怖におそわれていたのです。





No.23-2/4

さて、今回も、君たちの答案の中から、「優秀作品」(7点満点中、5点以上の一  
部。今回は、ほとんどの答案に、若干の誤りや、表現ちがひがあるけど)を紹介  
します。

なお、答案のまま再現していますから、誤字や脱字もそのままにしています。

## 友だちの答案から学ぼう

### 3組 H. Y.

律令時代の農民はほぼ全員、米をつくっていた。しかし、それでもまだまだ、みんな食べて  
いけるほどの米はとれなかった。家族全員で2〜3人分しかとれなかった家もあった。1  
段につき50束といっているが、ほんとはその63% 程度しかとれなかった。

それに比べ、今は一部の人が米をつくらず、他のことをしている。けれどもそれで、み  
んな食べていける。それは、一部の人がつくった米を店で買ったり、その土地がよく肥え  
てたりする。けど、やっぱり外国からの食料の輸入で食べていると思う。輸入しなくなると、  
律令時代と代わらない、いやそれより下かもしれない。

しかし、この時代があるのも、律令時代みたくには、あまり米がとれず、その上、税でとら  
れても生きて。だから、今の人間が生きている。律令時代の人間が厳しくても、それ  
を乗り越えたら。今は楽だが、律令時代の人のことを考えると、残りものを捨てるなん  
でぜいたくだと思う。

### 3組 M. M.

私たちは今、何かほしい物があつたら、スーパーマーケットや、デパートに行けば、ある  
程度は、全て手に入る。でも、律令時代の下級貴族は、朝4時に出勤で日給4合。これで15  
人も養わなければならぬ。でも、これだけで足りるはずがない。

農民は、もっと厳しい生活をしてはいたはずだ。一日中、畑仕事 等 をして暮らしていた  
はず。でも、せっかく育った稲も「租」として、持って行かれてしまう。稲を育てても、自  
分の手に残るは少しだけ。その頃、天武天皇は、鹿のし肉や鯛を食べていた。これも税  
で「調」にあたる。あまりにも、身分に差があると思ひ驚いた。

私が、今の時代と、律令時代、どっちの時代に生まれてきたいと聞かれたら、今の時代だ  
ろう。

### 4組 T. I.

ぼくは、今の時代はかなり豊かな生活をしていると思う。今の食物は律令時代の貴族より  
も上という。それなら、律令時代の農民がかなりつらい生活をしてたということになる。  
なぜなら、収穫高の3%の稲を納めなければいけないことだが、この時代はほとんど  
米もとれなかったらしい。また、あわなどあまり聞かないことのないような物を食べていた  
ということなのでかなりつらい生活だと思った。

今は昔みたいに貴族が働いてないというようにないかなと、まじな暮らしができてい  
るのだと思う。昔もみんな働いていたらよかったのに貴族はずいやつらだと思った。

### 4組 T. K.

律令時代は天皇中心でまわっていたので農民の命や土地はすべて天皇のものだった。それ  
に農民の食べる分もないのに天皇は税を租・調・庸に分けてさらに農民の生活をくしくさ  
せた。

今では税もあるけどこの律令時代よりはかなりへっている。食べる物も昔にくらべれば技  
術が進んで大量に生産できるようになった。しかし、まだ先進国でない国では食べ物がなく  
て死んでいっている国もある。でも昔はもっとひどかった。農民全員といってほとんど食べ物  
がなくてよく生れたと思う。たぶんそれは木の葉などを食べて漢文時代とあまり変わらぬ生  
活をしていたのだと思う。

### 4組 Y. T.

いまの私たちはぜいたく。勉強はいや しんどいことはいや あそびたい とか はら  
べったとか、 もんくばっかり たれて、 生きている。でも、律令の時代の人たちと比べる  
と、はらがへつた ご飯をたらふく食べて、親が働いているうちは親にめしをくわしても  
らって、こずかいももらう。すごくぜいたくだ。律令の時代は、6歳になると田で働いて租  
を納めて、またもにご飯も食えないありきまで、だだをこねてるひまはなかっただろう。そ  
の一日一日どう生きるかの世界だっただろう。今は鉄器も機械も使って1人で何十人分も、  
へたした何百人分の食料を作ることができる。今の時代だからボクたちは儲かずに米  
をたべていると思う。これは昔の遣唐使と同じ又はそれ以上のぜいたくだろう。

結局、技術のさでこれだけのちがひがあるのだろう。又ほかにちがひはあるだろう。こ  
れは人間が楽をしたいぜいたくさんみたいだし、でも、苦労はいやという欲望が今も昔もか  
わっていないからだろう。

### 4組 N. N.

律令時代の農民は苦しい税になやまされながらくらしていたと思う。今ほど農耕の技術も  
進んでおらず、今は100%とれる田でもその半分ぐらしかとれてなかった。税がなくても苦  
しい生活なのに、税をとり、中には苦しきのあまり、ふろう者になる者もいたという。そ  
んな生活と今のぼくらの生活。食べ物にあふれ、着る物もあり、クーラーなどあつさをし  
のりだりさむしれのぐもさえある。昔はどうか？食べ物はもちろん着る物もろくにない時代。  
あつても着ない布きれ、ふとんもろくすり、こんな苦労する必要があつたんだろうか？税を  
とらなくても生活。だが税をとらなないと生 活できない人もいる。どうすればいいのか、ぼく  
もわからない。昔の人がいかに決して今の時代があるんだろう。昔の生活を知らないぼくら  
にはどうすればいいのなんてわからないと思う。



No.23-3/4

## 4組 T. F.

ぼくたちのくらはしは、昔の人でいう天皇よりゆたかな生活をしている。それとくらべて、昔の農民の人たちのくらはしは、今でいう家で飼われているペットよりも、まずしい生活だ。今の生活は、昔の天皇である。ぼくたちは働いていない。しかも、ごはんなんて、いくらでも食べれる。なぜ、今と律令時代とでは、こんなにちがうのかということ、のうこう技術が繁殖したこと、法律がかわったことである。律令時代の人は、のうこう技術・生産力がひくかったからだ。今と昔のつながりは、のうこうをする人々と生活をするためだけに働く人に分かれたことだ。今は、生産力が上がったから、律令時代、稲を作っていた人たちが、人手がたりるので他の仕事についた。今だって、のうこうをしている人たちはいる。律令時代という、貴族は、今のぼくたち子どもである。

## 4組 M. K.

律令時代の人々は、租・調・庸の税で苦しい思いをした。「租」の稲を3%だす。と言うのは、1町目の田から315たばがとれてそこから3%とられるのは食べて行けなかった。調と庸は都まで歩いて出しに行かないと行けなかった。今の人はギンコウに出せば、税は出したし。貴族は働いてるし。がんばったらがんばったで、収入が増えるし。律令時代の人は貴族の分まで働いた。(貴族はなにもしなかった)。木の葉を取らなくても栄えたつるの物をスーパーで買えるし。私達は、昔の貴族より豊かな生活をしている。暑かったらクーラーをつければ、お中すいたらスーパーで買う。もし、私達と調と庸が歩いて出しに行かなければいけない場合は、缶詰めがあるし、旅館もあるから。あまり、行き倒れはしない。車があるし、飛行機もある。だから (この作文は、とちゅうで終わっています)

## 4組 K. S.

律令時代の農民と今の私たちの暮らしについて比べてみて思うのは、まず税のことで。比べてみると、律令時代の時と今の私たちの生活の中で税をおさめるという形では、同じで律令時代は、布・織物・米で、今のわたしたちは、お金をおさめているという部分で同じなだけで、ただ、今の私たちは自分たちの分だけ、お金(税)を国におさめているけど、律令時代の農民の人は、自分たちの分だけでなく、たぶん貴族の人の分もいっしょにおさめていたんだと思う。だから倍に働くのが苦しかったと思う。私たちは、お金をおさめるといっても、銀行にふりこんだりしていたり、どこか遠いところに物を運ぶというのでもどこかに泊まってもいい。だけど律令時代には、銀行や、歩いていける所は、泊まる所もないから、苦しい時代だ。

## 4組 Y. M.

私がもしこの時代に住んでいたのなら、私は、たえられないと思う。私は、人より食べ物をよく食べるので、食べ物が無い時代に私がいたらたえられないと思う。

それに、お腹の中に寄生虫がいたのだから、たえられるっていうレベルじゃないと思う。お腹はへっているし、食べ物はないし、げりをしてるし、重税で大変だし、このころの民衆は、ほんとに大変なんだと思う。

その時代にくらべて、私達が住んでいる時代は、税はあるけど、そんなに重くないと思う。それに、げりは、そんなにしない、でも時々あるけど、それにお腹をへらすことは、時々あるけど律令時代の人たちよりは、あまりへらしてないと思う。それから食べ物が問題だ。食べ物が減ってきている今は、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの国から輸入しなくちゃならない時代だ。それは食物がないということじゃないだろうか。現代は、律令時代のちよっとましな時代じゃないだろうか。

## 5組 T. A.

ぼくは律令時代の農民はかなり貧しいくらしだったと思います。なぜかという、昔は天皇中心の政治で農民と天皇の身分差はかなりはげしいため。

班田均授法について6歳から口分田で働かされてなおかつ租もとられます。収穫高を見てみると、27人働いて収穫高は約2800合でした計算してみると 1人に必要な量は 約1090合です。ですからなんぼけずとも4人ぐらいいまでしか生活できないということです。それに租が加わって農民はかなり苦しい生活していたんだということがわかります。しかも農民は墾穴住居に住らしています。

しかし今ではぜんぜん楽だと思います。6歳から働かんでもいいし、ふつうの家に住らしています。

今はみんな平等で天皇と住民の差はありません。この違いだと思います。それで律令時代の農民はかなり貧しい生活をしていただんと思いました。

## 5組 D. I.

ぼくは、律令時代の庶民の生活は、とても大変だと思いました。それは、律令制による戸籍にもとづき、6歳以上の男女がすでに口分田をあたえられていたからです。でも、6歳の時なら税をとられないからまだましだと思います。しかし、20歳からは、税を取られなくても足りていない稲穂から3%を取る祖に農民は苦しみ、成人男子は特産物を都まで運ぶ調や労働か、麻布を都に納める庸に苦しみました。なぜ庶民の生活がそんなにきびしいものになったのでしょうか

それは、その当時貴族は働いていなかったからです。ぼくは今も昔も庶民はきびしい生活をしていかななくてはならないのかなあとと思いました。

## 5組 M. T.

律令時代の農民は、ずっと働いてばかりで、米などを作っても、租などの税で納めて、自分たちが食べる分もほとんどなくて、ひえやあわを食べていた。それに、衛士や雑徭などでも働かされてしまっていた。

でも、今は、米を毎日食べられるし、そんなにひどい税はないと思う。その差は、あまり働かないのに暮らしている貴族に原因があると思う。農民が必死になって作った米を、貴族たちは、たいした苦労もないで食べている。そういって働かないで暮らしていける階級があるせいだと思う。



尼崎市立小国中学校 第2学年 社会科通信

# なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.23-4/4

## 5組 R. A.

今の暮らしは、律令時代の人より楽だ。

今は、田んぼを耕したりするのも機械があるから楽だけど、律令時代の農民は、機械がない。しかも、先生の話によると このころの農民さんは、田んぼを耕したりするのは、鉄器と石器に別れてたそう。その上 鉄器の数は、少ないときもんだ。これじゃ農民さんは大変だったはずだ。

農民さんは一生けん命にはたらくのに、貴族の人たちははたらくていなかったようだ。ヒドイ話だ。これじゃあ農民さんは、なにもしてない貴族のために働いてようなんなんだ。今の人たちは、自分のために、家族のために働いている。(まあ、この律令時代の農民さんもそうだけど)。

## 5組 R. I.

律令時代の庶民は、口分田が与えられ、収穫高の3%を租として納めた。また成人男性は防人などの兵役や、調・庸などを都まで運び、労役にも従い、貴族のために働いた。このことがとても負担になった。

それに比べて今の私たちの暮らしは、自分の土地は自由に使えるし、働いた分は収入にもなる。税金(消費税など)は、自分たちのために使われる。このことから、律令時代の庶民に比べものにならないほど、私たちの生活は、豊かで、楽だと思う。

## 6組 Y. K.

律令時代も現代も税をとっている。でも現代の税は律令時代の税より断然ましだと思う。現代の税は所得に対して払っている。しかし律令時代の税は稲だ。だから不作や不凶の時などもある。だが決まった税を納めなければならない。それも都まで。これが本当にかいと思う。この差が現代の方が楽な理由と思う。だからなかなか楽に出来ない者が口分田を捨て多くの者が逃亡する。ほくがこの時代にいたら、多分一緒に逃亡していた。これを参考に現代の税は人々が苦しまな程度にしてあげようと思う。

## 6組 N. M.

今の自分から昔の律令時代を考えると 貴族のくらしは楽かもしれないけれど その下にいる農民は そのころ るくに米なんてできなかったのに楽なくらしをしている貴族のために働いていた。今だったら、品種改良や機械があつてそりや仕事ははやくていっぱい米がとれるから今だったら問題ないと思うけど、昔の人々は機械なし、手作業などがすごくたいへんだったろうと思う。昔の人は今の人に比べてはやく死んだというのはそういう重い税が人々を苦しめたから じゃないのかと思う。

## 6組 T. T.

律令時代の農民たちには、重い税がかけられていた。租・調・庸や、防人や雑徭、さまざまな税がかけられていた。なぜ、重いかという、調や庸は、特産品などを、都まで運ばなければならないかった。この時代は、車や道路もないので、歩いて運ばなければ、ならなかった。現代の人々は、税はかけられているが防人や雑徭みたいに、国のために働くという税はかけられていない。この差は大きいと思う。律令時代は身分が分けていた。遺族の人達は、働いていなかった。農民の税で豊かに暮らしている その分農民の暮らしがきびしくなったと思う。だから今の、私たちの暮らしの方が楽だと思う。これが律令時代の農民と、私たちの生活について、考えたことです。

## 6組 N. O.

律令時代の人々は、いろいろな重税によくなされたなあと思った。私が律令時代の人間だったら、どうやって生きていこう。いや、死んでいたかもしれない。今の私たちの生活にも『消費税』というものがあるが、こんなもの、律令時代の農民の人々の税にくらべれば楽なものである。

律令時代、農民の人々は税の種類でいうと『租』で、とった稲の3%をもっていかけた。とった。今の私たちの生活では、簡単に畑を耕せるものとか稲穂をよくみのらせるための肥料とかがあるが、この時代には、たぶんなかっただろう。だから 稲もろくに育たなかったと思う。それなのにそのうち3%ももっていかれたら、1年間の家族分の稲もとれなかったと習った。律令時代の農民は、ほんとうに苦しい生活をしていただんだなあと思った。自分は今の世の中に生きて、本当によかったと思っている。

## 6組 A. K.

その頃の人々の生活は決して"楽"ではなかったと思う。私達は、今"便利"な世の中で、比較的"楽"に生活している。生きたい所があれば、車や電車などを使って短時間で簡単に目的地まで行ける。食料も、スーパーとかで、金さえあればいくらでも手に入る。律令時代の農民の生活といえ、小さい頃から、稲作をやられたり、食糧だって、簡単に手に入れる事はできなかった。それに、いろんな税を納めなければならない。かなり、生活していくのが苦しかったんだと思う。

でも今の生活も"便利"になった事は、たくさんあるのに"身分差別"みたいなものが今でも残っている。それに食糧の事だって、私達は、食べたいものは"好き"とって食べ、食べたくないものは"嫌い"とって、残したりする。その残った食糧で昔の子供1人分のお便を満たす事ができるかもしれない。昔じゃなくて、これは、今でもいえる。食べる物がなくて餓死する子供がいるんな国にたくさんいる。そう考えると、私達の今の生活なんかも 考え直さないとけないと思う。

